

# USB メモリから起動可能な Linux LiveUSB の作成方法

- KNOPPIX を例にとって -

2010/04/02 版

文責：京都大学東南アジア研究所情報処理室：木谷

USB 起動をするためにはパソコンの BIOS が対応している必要があります。

不明なら、実際作成してやってみれば分かります。

## 1. 準備

(ア) PC のフォルダオプションの表示設定を変更

- ① 「登録した拡張子を表示しない」のチェックを外す
- ② すべてのファイルを表示にチェック

(イ) USB メモリを FAT32 でフォーマット

- ① パーティションを区切っても構いません

(ウ) 利用したい Linux OS の ISO イメージ (CD ブート用) をダウンロード

- ① <http://www.rcis.aist.go.jp/project/knoppix/> よりダウンロード

(エ) USB ブートのためのシステム

- ① <http://syslinux.zytor.com/> の左サイドメニューから download を選択  
※<http://www.kernel.org/pub/linux/utils/boot/syslinux/>
- ② 「syslinux-XXX.zip」(XXX はもっとも数字が大きいもの) をダウンロードし展開
- ③ win32 フォルダ内の syslinux.exe をコピーしてもっておく

## 2. 構築

(ア) ダウンロードした ISO イメージ内データを、USB メモリのトップにコピー

- ① CD-ROM あるいは DVD に焼き込む
- ② Daemon Tools や Parallels Desktop など ISO イメージデータを仮想 CD として認識させるツールを使ってもよし

(イ) USB メモリ内は下記の構成などになっていることを確認

- ① BOOT.CAT
- ② BOOT.MSG
- ③ INIRD.GZ
- ④ ISOLINUX.BIN
- ⑤ ISOLINUX.CFG
- ⑥ PUP\_412R.SFS
- ⑦ VMLINUZ
- ⑧ SYSLINUX.EXE

# USB メモリから起動可能な Linux LiveUSB の作成方法

- KNOPPIX を例にとって -

2010/04/02 版

文責：京都大学東南アジア研究所情報処理室：木谷

⑨ KNOPPIX (フォルダ)

⑩ 以下ずらずらと続く

(ウ) ISOLINUX.CFG を syslinux.cfg にリネーム

(エ) コマンドプロンプトを出し、USB メモリへ移動する

① > d: (D ドライブなら)

② > syslinux -ma d:

(オ) これで完了

## 3. テスト

USB デバイスからブート可能なマシンで試してみる。

## 4. 動作確認状況

ブートメニューを出し、USB を選択できれば利用できると思います。

(ア) DELL Latitude D620 (起動時に F12 を何度か押す)

(イ) DELL Optiplex 755 (起動時に F12 を何度か押す)

(ウ) Eee S101 (ESC を押しながら電源をつける)